

## イタイイタイ病を考える県民フォーラムを開催しました。

2月14日（土）、開館以来、三回目となる「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」を開催しました。石井知事の開会挨拶では、一昨年末の被害者団体と原因企業「全面解決」に関する合意、そして（一財）神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会の設立に触れられ、関係者のこれまでの努力に敬意と感謝の意を述べられるとともに、未来を担う若い世代に悲惨なイタイイタイ病の歴史とその克服の過程を学んで欲しいと述べられました。

学習発表会では、富山大学人間発達科学部附属小学校、小矢部市立津沢中学校の生徒の皆さんが資料館を見学し、授業から学び感じとった成果を発表していただきました。また、富山大学人間発達科学部の2年生の皆さん、そして金沢大学人間社会学域香坂ゼミの川邊咲子さんからは、専門分野での研究成果についての発表や、それを踏まえたうえでの提言を行っていただきました。

学習発表会の後は、鏡森館長から資料館の入館者の状況や取り組みについての事業報告を行いました。

午後は、歌手で教育学博士のアグネス・チャン氏による「水の惑星に生まれて～美しい海と森について」と題した県民講座を開催しました。世界の水事情に触れつつ、自身の幼い頃の生活体験やユニセフでの活動経験を交え、水の重要性についてお話いただきました。世界では十分な水が得られないために紛争が起こり、多くの子どもたちが、命を落とし、学ぶ時間を失っている事実があること、環境を守り、豊かな水を確保していくことが人類の課題であることをお話いただきました。

この後、四大公害病資料館の館長やイタイイタイ病対策協議会の高木勲寛会長に参加いただき、シンポジウムを開催いたしました。シンポジウムでは富山大学人間発達科学部の根岸秀行教授をコーディネーターに迎え、『公害病資料館の果たす役割と課題』について意見交換を行いました。

地域社会に資料館がどのように貢献していかなければならないのか、地域性を踏まえつつ、どのように子どもたちに公害の教訓を伝えていくべきなのか、会場の皆さんと共に考える時間となりました。



知事挨拶



学習発表会



事業報告



県民講座



シンポジウム

## 課外学習サポート事業の調査結果について報告します。(中間報告)

4月より小学校等が課外授業などでの資料館への来館をサポートするため、無料送迎バスを提供する課外学習サポート事業を実施してきました。資料館では、見学された先生方や子どもたちにアンケート調査を実施し、理解度の調査を行っています。その結果について報告します。

まず学習効果の状況については、来館前に「知らない」と回答した子どもたちのうち、来館後に「理解できた」と回答する子どもたちが概ね9割を占め、資料館での学習が子どもたちの理解に着実に結びついていることが分かりました。

また、学習後の分野別の理解度、効果については、特に今回の調査で、子どもたちの理解が深まった部分、印象に残った部分で多かったのが、「患者の症状や特徴」、「患者・家族の苦しみ、地域の人々の苦労」、「患者の骨の状態」といった職員が写真や模型を使って解説したり、語り部さんが話をしたりする中から学習する項目でした。このことから解説時に子どもたちの視覚や感情に訴えるような工夫をすることが、理解を深めるのに有効であることが分かりました。

このことを踏まえ、資料館では、子どもたちの理解をより深められるように、職員の解説技術の向上を図るとともに、子どもたちを飽きさせない工夫をしていく必要があると考えます。



富山県立イタイタイ病資料館  
平成27年2月28日現在

### 課外学習で資料館を利用した子どもたちの学習状況(概要)

**1 集計対象** 課外学習サポート事業を活用して来館した小・中学生 1,730名(33校)  
=小学生/1,530名(29校)、中学生/103名(2校)、大学生/97名(2校)

**2 学習効果の状況**

項目	発生した時期		発生した地域		患者の症状や特徴		原因(物質)	
	知っている 割合 %	知らない 割合 %	知っている 割合 %	知らない 割合 %	知っている 割合 %	知らない 割合 %	知っている 割合 %	知らない 割合 %
来館前	25	75	41	59	45	55	53	47
来館後	45	55	81	19	85	15	51	49

**3 学習後の分野別の理解度、効果** (単位/人)

展示室のテーマごとの分野	理解できましたか?		特に理解が深まった	特に印象に残った	今後もっと学習したい
	できた	できなかった			
テーマ1 川床を利用していた昔の生活	1,692	38	1,692	1,692	1,692
テーマ2 発生した時期	1,542	188	1,542	1,542	1,542
発生した地域	1,687	43	1,687	1,687	1,687
患者の症状や特徴	1,687	43	1,687	1,687	1,687
患者・家族の苦しみ、地域の人々の苦労	1,687	43	1,687	1,687	1,687
原因(物質)	1,650	80	1,650	1,650	1,650
職員を起した理由とその結果	1,533	200	1,533	1,533	1,533
住民と関係企業の取決めの内容	1,310	420	1,310	1,310	1,310
患者の認知方法、患者数	1,524	206	1,524	1,524	1,524
患者の腎臓の状態	1,321	409	1,321	1,321	1,321
患者の骨の状態	1,303	427	1,303	1,303	1,303
富山への定入調査の内容と歴史	1,303	427	1,303	1,303	1,303
富地の工場発生の内容と歴史	1,427	303	1,427	1,427	1,427
総計	1,689	541	1,689	1,689	1,689



機関誌『資料館だより2015 春号』を発行します。

資料館の出来事などをお伝えする『資料館だより 2015 春号』を3月下旬に発行する予定にしております。

平成26年度下半期の事業報告や来年度上半期の事業予定など内容盛りだくさんの内容となっています。皆さん是非ご覧ください。

この「資料館だより」は、年2回（春・秋）発行しており、公立図書館等でご覧いただけるほか、資料館ホームページからも閲覧できます。

「資料館ホームページ」（URL <http://itaiitai-dis.jp>）